

## たくさんの外国人と仕事をする年になりました

第9期 OB 清水 鈴

2019年は、たくさんの外国人とお仕事をした一年になりました。かくいう私も23年間カナダで生活した日系カナダ人なのですが、2019年はたくさんの国の人と触れ合った1年だったなと思いました。広告という仕事柄もあり、撮影や世界の様々なプロフェッショナルに交渉をするべく、今年はミャンマー、タンザニア、イギリス、オーストリア、アメリカへ行き、仕事で行っているので安全なはずなのに、時には盗難にあい、時には出演者を道端でナンパしたり、時にはギャングに囲まれ中々アドベンチャラスな一年となりました。そして、この様々な出張の中で接した外国人が（現地人ですね）今年がとても楽しかった理由の1つなのではないかと思っています。外国人と触れ合うといかに日本が特殊か、そして世界には色々な生活があることを実感し、思い出します。長年カナダに住んでいるから日本が自分にとって100%ホームタウンでないことは分かっているのですが、やはり日本に長い間いると窮屈に感じる人が多いのです。もちろん東京の電車に乗っている時に感じるフィジカルな窮屈さもあるのですが、みんな同じことをしないとイケない、ちょっと目立ったことをするとみんなから注目される、あの窮屈さのことを話しています。それが海外に行くとなんだかリセットされ、開放感に溢れて毎回帰国できるのが私にとって外国人と仕事をして楽しい理由なのかもしれないと最近思うようになりました。2020年はオリンピックイヤー、かくいう私も関わってまして、7月から9月にかけてオリンピック会場でウロウロしていると思います。また今年もたくさんの外国人と仕事ができる年になると嬉しいです。

